

質問（事前アンケート）より ①

まぜ、家族相談が続かない？



事例紹介について

研修の中で、いくつかの事例紹介を行います。

いずれの事例も、講師の経験に基づいた架空のものです。

事例紹介は、事前の資料には掲載されていませんが、後日の講義の録画配信（研修参加者限定）には含まれていますので、ご参考下さい。

時間の都合上、ここでは各自で読んでおいてください。

家族相談が続かないのは？

家族の相談（要望）は、本人が拒否していること、すぐに解決できないこと（働く、外出するなど）が少なくない。

⇒すぐに解決できないことを実現するための助言は、現実的でない。

「仕事ができるように一緒に考えましょう」は上手くいかない

とはいえ、

⇒「それは、難しいです」というだけの助言には、将来への見通しが無い。

家族相談の最初は...

家族が、これまで行ってきた行動への「ねぎらい」、今抱えている不安への「受容」が始まり。

今できること（煮詰まった現状を少しでも変化すること）を助言。

今後の見通し、将来利用しうる社会資源などの情報を提供。

⇒そのためには、支援者が、様々な事例を経験する、回復過程を知ることが有効。

（発達障害の知識は、とても有用）

質問（事前アンケート）より ②

ひきこもりと就労支援



就労支援とは

就労支援の基本は、

- ・ 働かない（働けない）人を、
働かせるのではなく、
- ・ 「働かなくても良い」でもなく、

「働きたい」と思っている人に、
働ける場を、
提供することが重要。

就労支援とは

「働ける」のに
「働かない」のか

「働けない」から
「働かない」のか

「量」がこなせない
「質」がこなせない

統合失調症等の
精神疾患

+

「対人緊張・集団恐怖」がある

「働きたい」と思ったとき
「働ける職場」があるのか

ひきこもり
発達障害

「量」への配慮：勤務日数、時間
「質」への配慮：簡単な作業など

多くの福祉サービス
事業所

+

「対人緊張・集団恐怖」への配慮：

個室、パーテーション、在宅

就労支援を考えるとき、

就労には、大きく、「一般就労」と「福祉的就労」があります。

一般就労：

収入はよいが、配慮は少ない。

福祉的就労（障害者雇用）：

配慮はあるが、収入が少ない。

「障害者」を受け入れられるか。
まずは、本人の思いを大切に。

ひきこもり者の就労支援

一般就労

ハローワーク
ヤングハローワーク
地域若者サポートステーション
NPO・その他

福祉的就労および障害者雇用

ハローワーク
（専門相談窓口）
障害者職業センター
総合支援法による
障害福祉サービス
NPO・その他

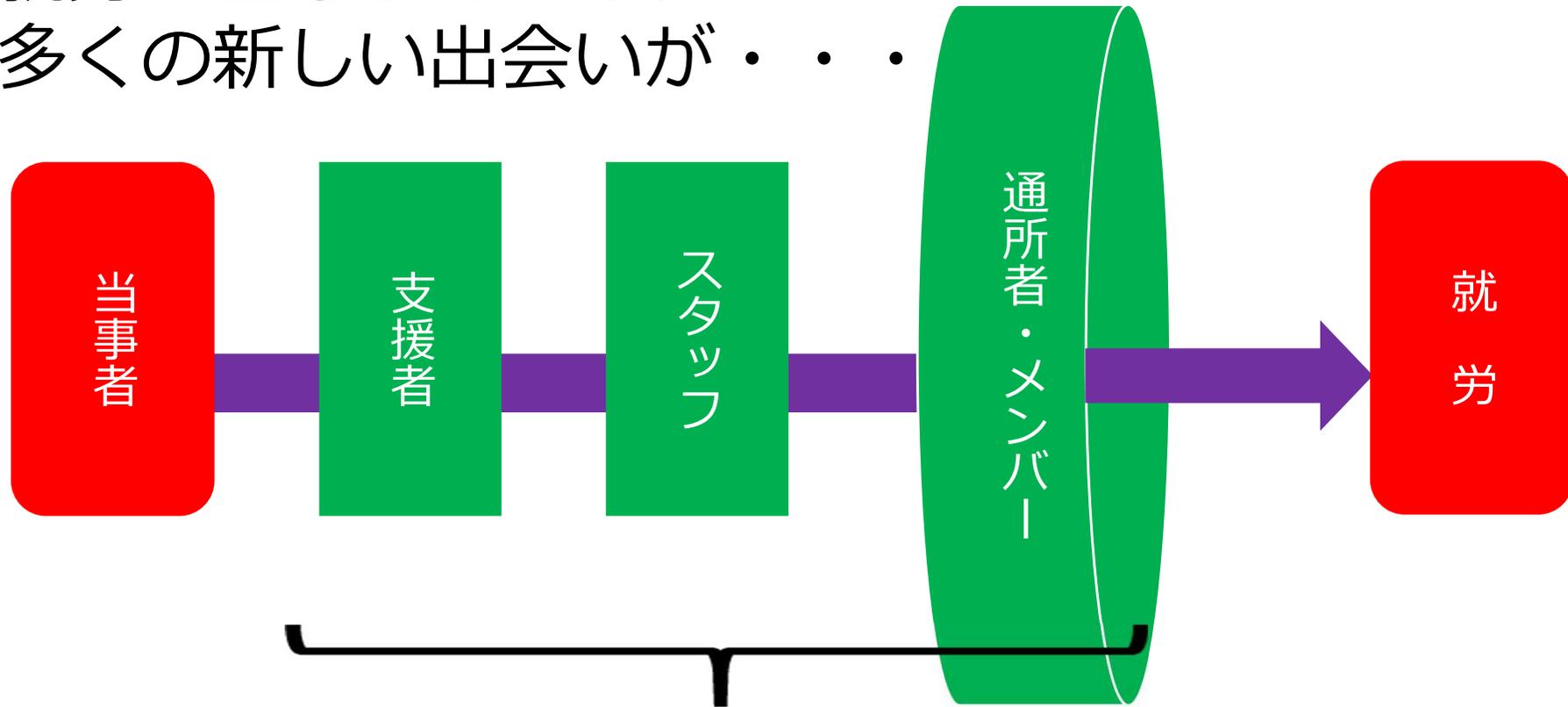
※必ずしも、就労が当面のゴールになるとは限らない。

※「発達障害」などの告知を受け入れることと、障害者制度の利用を受け入れることとは別の問題。

精神障害者保健福祉手帳
（なくても、診断書などで利用できるが、手帳があった方がやりやすい）

対人恐怖・疲労は大きな課題

就労に至るまでには、
多くの新しい出会いが・・・



実は、この過程にエネルギーがいる。作業能力的には十分できていても、**そこで新たに出会う人への不安感、ストレスの方が就労へのハードルが高い。**

質問（事前アンケート）より ③

記録の保存期間／障害年金



記録の保存期間は？

医療機関では、基本、5年を保存期間としているが、相談機関や行政機関では一定していない。

できれば、5年ではなく、長期の保存をお願いしたい。

- 1 障害年金を申請するとき、
 - ・ **初診日認定（受診状況等証明書）**が求められる。
 - ・ 障害認定日（20歳誕生日もしくは20歳以降の初診から1年6か月後）の**国民年金等診断書（精神の障害用）**が必要となる。記載のために、記録は保存しておきたい。
 - ・ 最近では、家族に対して、**障害認定日の日常生活及び就労に関する状況について（照会）**を、医療機関には、障害認定日により詳細な記述を求められることがある。

※新しく20歳になる人には、年金の申請（猶予申請を含む）・支払いをきちんとするように説明する。
- 2 ひきこもりや発達障害などでは、最初に関わった時の所見が、数年経過して落ち着いてくると目立たなくなることがある。当初の所見の振り返りのためにも、記録は保存しておきたい。

障害年金の申請

障害年金を申請できる要件を満たしているか？

本人が、障害年金を申請したいと思っているか？

「診断名」「障害」を受容できるか？

必ずしも、支給できるとは限らない。

安易に、「障害年金をもらったら」とは言わない。

「申請できるか、受給の可能性があるかを相談みては」と。

1 これまでの年金の支払い状況は？

※新しく20歳になる人には、年金の申請（猶予申請を含む）
支払いをきちんとするように説明する。

2 これまでの医療機関受診状況は？

初診はどこか？（受診状況証明書は書けるか？）

3 診断書を書いてくれる医師は？

4 申立書は書けるか？（支援者が協力して）

5 その他（銀行口座等はあるか、）

質問（事前アンケート）より ④

好事例を知りたい



質問（事前アンケート）より ⑤

長期化する事例が増えている。
どのように対応すればよいか。

